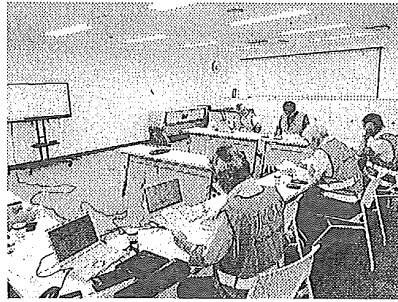


伝達網などを確認

建コン協九州が
災害時対応演習

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は1日、協会本部と各支部との災害時対応演習を実施した。写真。北海道日高沖を震源とするマグニチュード8・2の地震が発生したとの想定の下、北海道支部に災害対策現地本部、協会本部に災害対策本部



を設置、そのほかの支部が支援するという設定で行われた。

福岡市の同支部事務局には、田中支部長をはじめ、防災委員らが集まり、本部と支部、支部と会員各社との連絡・伝達網が正常に機能するかなどを確認した。演習に当たり、田中支部長は「全国の全会員を持ってすれば大規模災害に対応できる。スムーズに連絡できるかが大切」と話し、訓練の意義を説明した。